



「相模の海」 高岡徳太郎

海と山の風景展

〈前期〉7月6日(月)～8月11日(火)〈後期〉8月13日(木)～9月22日(火・祝)

午前10時～午後6時(前・後期とも最終日は午後5時閉館)

高島屋史料館[入場無料] 休館日=水・日曜日

アートな避暑地へ、
ようこそ。

国民の休日「海の日」、そして来年から施行される「山の日」(8月11日)を記念して、各地の風光明媚な海や山を描いた風景画を展覧します。洋画では、山海をモチーフにした作品が多い高岡徳太郎、日本画からは、緑や青のグラデーションが特徴の東山魁夷などが登場。蒸し暑いこの季節、涼やかなひとときをお楽しみください。

高島屋史料館

海と山の風景展

高 Takashimaya archives

〈前期〉7月6日(月)～8月11日(火)〈後期〉8月13日(木)～9月22日(火・祝)

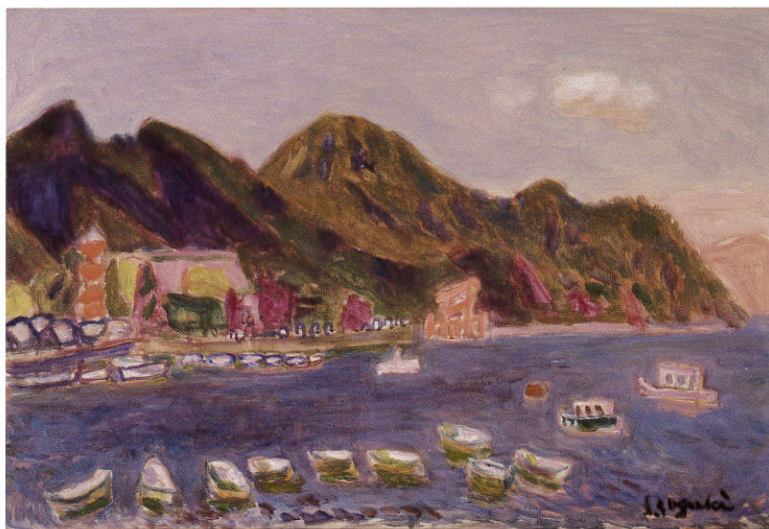
午前10時～午後6時(前・後期とも最終日は午後5時閉館)

高島屋史料館 [入場無料] 休館日=水・日曜日



〈表面の作品〉

「相模の海」 高岡徳太郎 1961(昭和36)年
堺中学を一年で中退後、上京して油絵の修行を続けましたが、関東大震災に遭遇して帰阪、高島屋宣伝部に入社。仕事の傍ら絵の勉強を続け、やがて二科展に入選して、本格的に画家の道に進みました。



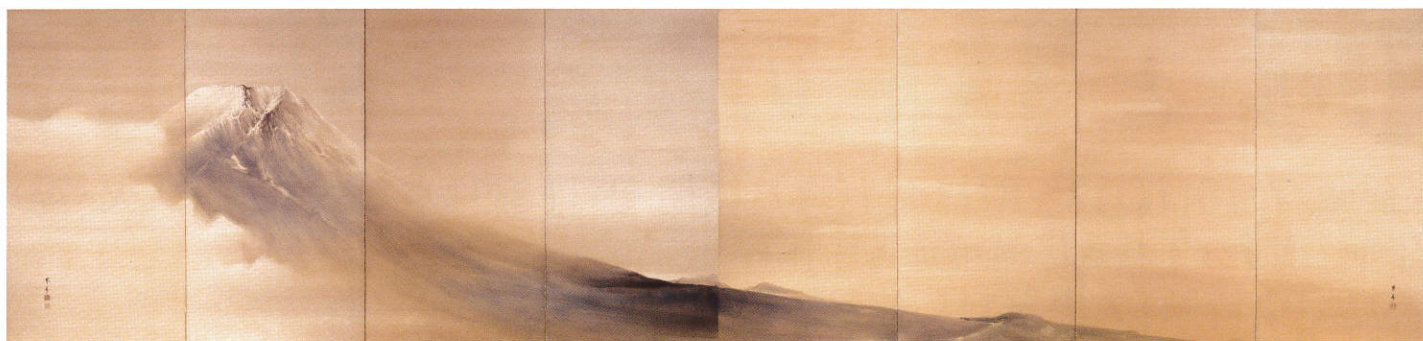
「宮島(朝)」 鈴木信太郎 1953(昭和28)年

色鮮やかな色彩と、童心を思わせる愛らしい画風で知られる作者は、戦前戦後にかけて二科会を中心に作品を発表。昭和の洋画壇で活躍した洋画家のひとりです。



「風景」 藤島武二 制作年不詳

四条派の画家や川端玉章に日本画を学びますが、後に洋画に転向。後年は、東洋的な主題を扱う一方、各地の山や海を取材して、数多くの風景画の秀作を残しました。



「富岳之図」 山元春拳

制作年不詳

この作品は、高島屋の迎賓館の役割を果たした「呉竹庵」の調度品として制作。作者は四条派の画家・野村文挙に学び、後に森寛斎に師事。高島屋の輸出用の美術染織品製作にもたざさわりました。【後期展示】



「山」 小野竹喬 1978(昭和53)年

早くから画家を志し、13歳にして京都に上り、竹内栖鳳に師事。1978年、高島屋の東京日本橋店で開催された「喜寿記念小野竹喬展」に出品された自選38点のうちの一つです。



〒556-0005

大阪市浪速区日本橋3-5-25

高島屋東別館 南側入口3階

TEL (06) 6632-9102